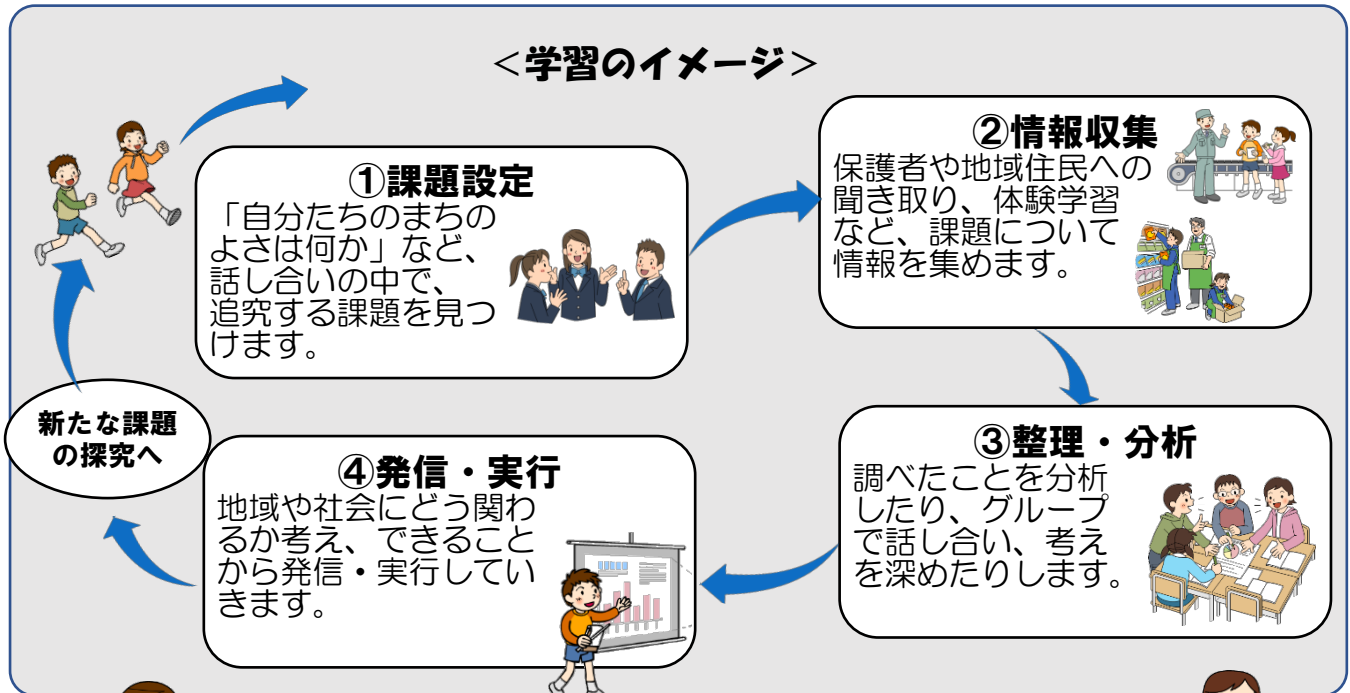


## 未来の創り手を育てる「武蔵野市民科」の取組について

世の中が大きく変化する中、一人一人が幸せな社会をつくるには、「よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力（市民性）」が大切です。そこで、武蔵野市では、子どもたちの市民性を育むために、令和3年度から「武蔵野市民科」の学習に取り組んでいます。



### <武蔵野市民科についてのQ&A>



**Q 新しい教科ができるということですか？**

A いいえ。総合的な学習の時間、各教科、特別の教科 道徳などを組み合わせ、学校のこれまでの実践を生かす形で行う予定です。

**Q 何年生から実施するんですか？**

A 小学校第5学年から中学校第3学年の学年で年1回以上、実施する予定です。

**Q なぜ、武蔵野市民科が必要なんですか？**

A 武蔵野市民科として学校の教育課程に明確に位置付けることで、たとえ教員が異動しても、継続的に実施できます。また、地域や保護者の皆様に市民性の育成の重要性を発信しやすくなり、共に社会をつくる協働体制の構築にもつながります。

**Q どのように評価をするんですか？**

A 通知表の「総合的な学習の時間」や「総合所見」で学習の成果を文章でお伝えします。

### <自校の今年度の取組予定>

**令和4年度学習テーマ**

- 武蔵野市の理解（1年） 「大町市立八坂中学校との交流学習」
- 職場体験（2年） 「職業に関する調査・研究、市内事業所での職場体験」
- まちづくりへの参画（3年） 「武蔵野市改造計画～ズバリ市長への提言～」